

Hello! FUJISEI

No.66

久しぶりに会った同年代の友人との話題がいつしか親の介護問題となっていた経験は誰しも持っていることなのでしょう。今や介護問題は、避けては通れぬ大きな問題となっています。

厚生労働省の「平成22年 国民生活基礎調査の概況」で、同居の介護者の日常生活での悩みやストレスについてみると、「ある」が60.8%で、その原因は男女ともに「家族の病気や介護」が高くなっています。

それでは、要介護者等の平成22年5月中の居宅サービスの利用状況はというと、1種類でも利用した人は約8割で、世帯構造別にみると、「単

避けては通れぬ「介護問題」

家族の病気や介護が悩み・ストレスに！

独世帯」が最も高くなっています。構造に比べて高くなっています。「三種類別にみると、「単独世帯」では、「訪問系のサービス」が最も多く、「配食サービス」の割合も他の世帯

世帯構造別にみた居宅サービスの利用状況の割合

利用の有無 居宅サービスの種類	総数	単独世帯	核家族世帯	〈再掲〉 夫婦のみ の世帯	三世帯世帯	その他の世帯	平成22年
							〈再掲〉 高齢者世帯
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
利用した	77.9	84.0	76.4	75.4	75.6	75.3	79.4
訪問系のサービス	51.9	69.1	53.7	53.5	40.4	40.5	59.6
通所系のサービス	46.2	30.3	46.7	44.1	56.7	53.5	37.5
短期入所サービス	11.7	4.7	9.2	8.4	17.7	17.8	7.9
小規模多機能型居宅介護	2.7	5.7	0.9	1.1	2.2	2.4	3.7
配食サービス	7.6	13.4	7.4	8.3	4.1	4.8	10.5
外出支援サービス	2.7	3.4	3.1	3.2	1.6	2.1	3.3
寝具類等洗濯乾燥消毒サービス	0.9	0.9	1.1	1.1	0.7	0.9	1.0
利用しなかった	22.1	16.0	23.6	24.6	24.4	24.7	20.6

厚生労働省「平成22年 国民生活基礎調査の概況」

性別にみた同居の主な介護者の悩みやストレスの原因の割合(複数回答)

